

研究課題名 「敗血症患者に対する神経筋電気刺激が及ぼす効果の検証」に関する情報公開

1. 研究の対象

2012年9月1日～2019年3月31日までの間に敗血症の診断にて当院の集中治療室に入室された方

2. 研究目的・方法・研究期間

敗血症に罹患し集中治療室（ICU）で管理される患者さんは重症化してきていますが、医療技術の発展により救命率は向上してきております。しかし、救命された敗血症患者さんにおいては、筋力や移動能力といった身体機能の低下が長期的に問題となるため、ICU入室中の早期より身体機能の低下を防ぐ必要があります。

近年、神経筋電気刺激（Neuromuscular Electrical Stimulation: NMES）は、ICU入室中より長期人工呼吸器管理患者さんの身体機能の改善することが示唆されてきておりますが、敗血症患者さんにおいては、その効果については未だ十分な知見は得られていません。

そこで本研究は、ICUに入室した敗血症患者さんにおいて、神経筋電気刺激が及ぼす効果を比較検証します。

方法は、実施承認日からから 2019 年 3 月 31 日までに敗血症の診断で当院の集中治療室に入室し、同意の得られた患者さんを NMES 介入群とします。2012 年 9 月 1 日～2016 年 9 月 30 日までに敗血症の診断で当院の集中治療室に入室された患者さんを NMES 非介入群とし歴史的対照群と設定します。NMES 介入群は、太腿の筋肉（大腿四頭筋）およびふくらはぎの筋肉（下腿三頭筋）へ 60 分/日、5 日/週、同意が得られた日から退院日まで実施します。NMES 介入群と非介入群で比較検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より以下の情報を収集します。

年齢、性別、身長、体重、BMI、合併症、使用薬剤、筋力、移動能力、周径、血液データ、日常生活活動能力を抽出します。また、医学的情報として、APACHE II score、SOFA score、人工呼吸器管理期間、腎代替療法の有無、ICU 在室日数、在院日数、転帰先など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 中島裕貴

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687

FAX 番号：052-744-2688

e-mail: nkjm1121@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部総務課 電話番号：052-744-1901

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 清水美帆